

報道関係者各位

2022年7月13日
一般財団法人 日本製薬医学会
理事長 岩本和也

日本製薬医学会(JAPhMed) 第13回年次大会に関するお知らせ

一般財団法人日本製薬医学会 (The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine : JAPhMed、以下日本製薬医学会) は、2022年7月28日(木)～30日(土)の会期で、第13回年次大会を開催いたしますのでお知らせいたします。

テーマ 製薬医学 2030 : 展望と提言 ～医療が多様化するデジタル社会を迎えて～

会期 2022年7月28日(木)～30日(土)

大会長 芹生 卓 (APGER Life Sciences/京都薬科大学)

開催形式(会場)

リアル開催 : 日本橋ライフサイエンスハブ

Web開催 : LIVE型Web配信(会期終了後に「オンデマンド配信」を予定)

今年度は、「製薬医学 2030 : 展望と提言 ～医療が多様化するデジタル社会を迎えて～」をメインテーマと致しました。

生命科学の進歩とともに、従来の低分子化合物を有効成分とした医薬品に加え、モノクローナル抗体、核酸、遺伝子、細胞などを使った新しい治療が次々と開発されています。また、デジタル技術やAIを応用した治療用アプリ(デジタルセラピューティクス)や、健康状態を把握し疾患の早期診断をめざしたプログラム医療機器が開発され、実用化が始まっています。さらに医薬品の開発やエビデンス創出、適正使用の推進やリスク管理においても、コミュニケーション方法も含めて、デジタル技術を用いた患者中心のプロセスへと進化しています。

今後、医療の多様化と個別化が進み、予防/診断/治療が改善され、患者が参画する医療の実現が期待されます。本大会では、プログラム委員と各部会が協力し、日本製薬医学会だからこそ実現できる魅力あるセッションを企画致しました。各分野でこのような変化を牽引されている産官学の専門家の方々にご参加いただき、2030年のライフサイエンスを取り巻くデジタル社会を見据え、活発な意見交換と情報共有の場として魅力ある大会を目指します。

例年にも増して、大変魅力的なセッションが多くなっておりますので、是非下記のウェブサイトで詳細をご確認ください。

年次大会特設ウェブサイト

<https://japhmed.jp/japhmed2022/>

一般財団法人日本製薬医学会について

一般財団法人日本製薬医学会は、医薬品の創薬から市販後管理に至るまでの幅広い領域における医学専門科目である製薬医学の普及啓発を責務として、産官学の各界で会員が活動しています。詳細については <http://japhmed.jp/> をご参照ください。

お問い合わせは、下記までお願いいたします。

日本製薬医学会事務局

メールアドレス：zymukyoku@japhmed.org